

神社敷地内の 環境美化に汗 宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は26日、帯広神社と十勝護国神社のボランティア清掃をした。関連



会社も含め、役職員約160人が参加し、敷地内の環境美化に汗を流した。

本格的な工事シーズンを前に、グループの寿エンジニア（本社・帯広、小林俊昭社長）、平田建設（本社・土幌、花垣正信社長）と実施している、恒例の奉仕活動。

はじめに、川合一寿宮坂建設工業取締役が、昨年亡くなった宮坂文一前会長の教えを振り返りながら、社会貢献活動の意義と作業上の注意点を説明。その後参加者は敷地内で、どんと焼きの焼却灰を袋詰めしたり、こみや倒木、枯れ枝などを拾い集めた。写真。

清掃終了後には、帯広神社神殿で安全祈願祭も行い、参加者全員で一年の無事を祈念した。

宮坂建設工業が神社で清掃活動

境内の美化に汗流す

関連会社も含め160人参加

【帯広】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は二十八日、帯広神社と護国神社で清掃活動を行った。写真。社会奉仕活動の一環として毎年行っているもの。両神社の境内を清掃し、地域に対する感謝の意を表した。

神社清掃は「日ごろからお世話になっている地元へ恩返しをしよう」と、平成七年から実施。同社はスコップなどで丁寧にゴミ袋に詰めていた。



清掃終了後は、参加者全員で帯広神社を参拝。神主からお祓いを受け、ことし一年の安全を祈願した。

奉仕

◆宮坂建設工業（宮坂寿文社長）が帯広神社などで清掃活動

このほど、帯広神社・十勝護国神社（大野清徳宮司）で開かれた写真。同社と寿エンジニア



（小林俊昭社長）、平田建設（花垣正信社長）の3社が合同で1995年

参加者は冬の間にはまった木の枝や、「どんと焼き」で出たごみを、スコップなどを使い清掃した。終了後には参加者一同が帯広神社で安全祈願した。